

2016年 7月31日(日)

～和歌山県ミニバスケットボール連盟 マンツーマン講習会資料～

JBA ユース育成マネージメントグループ

JBA マンツーマンディフェンス推進委員会 指導グループ

日本ミニバスケットボール連盟 普及技術委員長

牧野 広良

『マンツーマンを基軸とした組織・チーム・理論の構築』

【組織】

1. マンツーマン推進に関わるU-12の取り組み

- (1) JBA との連携
- (2) 全国大会に於ける準備
- (3) 第47回全国ミニバスケットボール大会におけるマンツーマン推奨の取り組み

【チーム】

2. マンツーマン推進に関わるチームの育成

- (1) 気持ち作り
- (2) ディフェンスにおける指導ポイント
- (3) オフェンスにおける指導ポイント

【理論】

3. マンツーマン推進の基準規則との関連

- (1) ボールを持っている選手にトラップが仕掛けられる場面は次のとおり
- (2) トラップの定義
- (3) トラップ(終息)後のケース
- (4) マッチアップのオフェンスが動かないケース
- (5) マッチアップを見ないケース
- (6) スローイン時のボールマンディフェンスの視野
- (7) オールコートディフェンスの対応
- (8) 退場により5人以下でのプレーを余儀なくされた場合
- (9) 即赤旗のケース(得点差・残り時間を考慮に入れて。)
- (10) コミッショナーのポジション
- (11) コミッショナーの運営面

4. U-12とU-15の相違点

- (1) マンツーマンディフェンスの基準規則
- (2) マンツーマンコミッショナーの設置および競技会(試合)における運用について